

会 議 録

会 議 名	第 10 回 隠岐の島町庁舎建設検討委員会		
日 時	平成 29 年 7 月 14 日 9:00～11:30	場 所	第 1 会議室
出 席 者	【役場】河北大規模事業課長、村上、宇野、森口、森田【アドバイザー】熊谷昌彦		
	【委員】林秀樹、服部俊彦、青戸智、金阪知保、小谷茂雄、木瀬愛、石川昭美、 常角辰夫、長崎好成、吉田十二		
	【梓・ナック JV】難波、東本、蔵本		
【協議内容】			
1. 新庁舎敷地配置計画について			
配置計画について、町は A 案に方針決定したことを説明し、以下の討議がなされたが、 A 案で設計を進めていくことで理解をいただいた。			
(服部) 駐輪場は、もっと庁舎に近い方が利便性は良いのではないか。冬場になると来庁者駐 車場は庁舎の陰になり、季節風の影響や日が当たらなくなるため凍結してしまう。その状 態での来庁者の出入りは危険なので、南側に来庁者駐車場がある B 案の方が良いのでは。			
A 案だと広場がすごく広いが、普段使うことはあまりないと思う。B 案の広場を通る道 路を庁舎側に近づければ、広場を分断することもないのでは。			
(林) 駐輪場の位置については、まだこれから検討できるのか。			
(事務局) おおまかなレイアウトは A 案でいかせていただくということで、庁舎の形や駐輪場 についても意見をだしていただけたら検討する。			
凍結についても検討し、冬場の 1、2 ヶ月のために導線を悪くしてしまうのは良くない ということで、A 案という方針を出したが何らかの対処をする。			
(服部) 冬場の 1、2 ヶ月といっても、やはり事故が心配なので、事故を防ぐというのが優先 順位ではないかと思う。			
(林) 普通の舗装では凍結してしまうので、舗装の仕方などを検討して対応していただきたい。 駐輪場についても、これからホールをどう使うかといったワークショップをするので、 そこで引き続き意見をだしていただくということ。			
(吉田) B 案だと南側に高い山があり、そのために悪くなることもあるので、A 案で良いので はと思う。			

2. 新庁舎レイアウト設計業務について

現在、町職員で行われているサインワークショップの状況について説明した。

3. 基本設計業務ワークショップ

梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体による基本設計業務のためのワークショップ

ワークショップテーマ：設計案を元に町民ホールについて考えよう

ワークショップテーマに基づき、配置計画の考え方について梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体より説明を行い、2班に分かれてワークショップを行った。各班の意見は以下のとおりである。

《1班》

- ① 広場をかっぱ公園のようなイメージで作ってほしい
- ② 乳児健診、予防接種等があるので、授乳室や離乳食を与えられるキッズスペースを設けてほしい。
- ③ 町民ホールは、見通しのきくガラス張りがよい。
- ④ 1階のトイレを多くするなど充実してほしい。オストメイト対応トイレなど。
- ⑤ 町民ホール周辺は、子供のことを考えた設計をしてもらいたい。
- ⑥ テラスは不要で、検診用のバス駐車スペースにしてはどうか。

《2班》

- ① 広場1をインターロッキング舗装にするなどして、車が入れるようにしてほしい。噴水や遊具を設けて、休日にピクニックなどができるようになるといい。
- ② 広場に島外から来庁した業者などが、待ち時間に過ごせる場所があればいい。
- ③ テラスで1日限定の屋台やカフェをオープンできると良いのではないかな。
- ④ テラスは不要ではないか。
- ⑤ 広場2は芝生や植樹など、遊具も置いて緑の公園というイメージにしてほしい。
- ⑥ テラスを小さくし、町民ホールを北に移動させれば、広場1,2が一体となって使えるのではないかな。
- ⑦ 駐輪場をテラスの近くに持ってきてはどうか。
- ⑧ エントランスホールに来庁者用の待ち合わせや休憩ができるスペースを設けてほしい。
- ⑨ 島外来庁者用に郷土資料などを展示できるスペースが欲しい。
- ⑩ 町民ホールに子供や老人の健診時に使える移動式の畳がほしい。

(難波) 両班の意見を取り入れて、次の案に反映させていきたい。

ワークショップについての講評

(熊谷) 全体的に広場や町民ホールなどの広さが制限されていたので、この中で使い方について考えるのは難しかったのではないかと思います。

日常的に使うのではなく、イベントなどの人が集まった時にどう使ったらいいのかという話だったが、女性からは子どものことや、世話をする親目線での意見が多かった。

広場の使い方について、広場2は親しみやすく草木や遊具などを設ける形だが、広場1についてはそれだけでなく、イベントなどがあつた時にすぐに使えるようにするといった特色があつた。

テラスについては、バスとの関係が必要だという意見もあつたが、たまり場や子どもの遊び場など、何らかの目的をもつた空間を確保するといった、実用性を考えて計画してほしいという意見が聞かれた。

主に町民ホールの北側の使い方と、広場1、広場2を特色付けながら考えていく必要があるといった意見だつたのではと思う。

(林) この皆さんの意見が設計に反映できるようにやっていただけたらと思う。

男性や健常者の目線で造ってしまうと、女性や子ども、高齢者、障がい者の方への配慮が足らなくなってしまうのではと思う。今日話があつたように、トイレの構造、離乳食を食べさせる場所、授乳室なども考えてもらいたい。

この委員会は旧西郷町民ばかりなので、都万、五箇、布施の人たちを忘れずに、新庁舎は旧西郷町の庁舎ではなく隠岐の島町の庁舎としてシンボルとなるような、皆が親しみやすいデザインなどをイメージして設計していただけたらと思う。

(事務局) この意見を元に設計者と協議し、盆明け頃には100点とはいかないが、ここまで設計に反映できたという報告ができると思う。

基本設計が9月で終了するので、その内容を確認してもらいホームページ等で公開していきたい。

都万、五箇、布施の方から意見を聞く方法は、事務局の方で検討させていただきたい。